



ROCK FIELD report

第37期中間期のご報告

平成20年5月1日～平成20年10月31日

ROCK FIELD CO., LTD. 証券コード：2910



株主の皆様へ

SOZAIオンリーワン企業を目指して

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第37期中間期(平成20年5月1日～平成20年10月31日)の営業の概況を
ご報告申し上げます。

■当期の概況について

厳しい経済状況にあるからこそ
付加価値の高い商品が求められます。

当中間期におけるわが国経済は、米国発の金融市場の混乱に加え、円高・株安の進行により、景気の後退局面入りが鮮明になってまいりました。そうざい業界におきましても、原材料価格の高騰や消費者マインドの冷え込みにより、厳しい状況が続いております。また、相次ぐ食の不祥事によりお客様の食に対する不信

感が強まり、食品企業の食の安心・安全への取り組みが強く求められております。このような情勢の中にあり、当社グループは第6次中期経営計画のもと、「たゆまぬ全員参加の“KAIZEN”と大胆な“イノベーション”の風を起こそう!」をスローガンに、「健康」「安心・安全」「美味しさ」「鮮度」「サービス」「環境」の価値観に基づき、付加価値・収益性の高いSOZAIオンリーワン企業を目指しております。また、高品質で高付加価値の商品開発を行い、店別、時間帯別、曜日別に品揃えを強化し、買い

合せ提案を実施いたしました。さらに、生産、物流をはじめ、全社ベースでの効率化によるコスト低減にも努めてまいりました。その結果、売上高は23,570百万円となりました。利益面につきましては原材料高、人材確保難による人件費の増加などの影響もあり、営業利益784百万円、第2四半期純利益は403百万円となりました。

■第6次中期経営計画

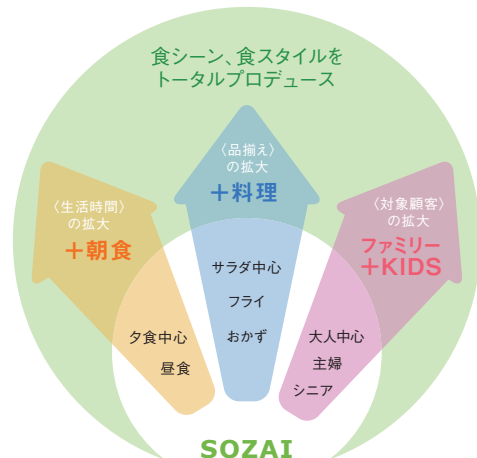
～モノからコトへ～

当社グループは現在、食育・食楽をベー

スに、朝食から夕食、前菜から主菜、子供から大人までSOZAI提案領域を広げた食卓ソリューションを行い、持続的成長可能な高収益企業への成長を目指しています。急激な環境変化の中、すべてのステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指し、改革改善に努め、強固な企業体質の構築を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年1月 代表取締役社長 岩田 弘三

●第6次中期経営計画3つの柱●



食シーン、食スタイルをプロデュースする企業へ

～第6次中期経営計画の進捗～



サラダ、フライに続く第3の柱「料理」とそれぞれの買い合せ提案に取り組みます。

前菜から主菜まで、朝・昼・晩を通じて、ロック・フィールドは食シーンの提案力を高める「料理」というジャンルに取り組んでいます。

この秋冬には、当社定番のサラダやフライと一緒に楽しんでいただけるキッシュやオリーブなどのオードブル、ロールキャベツやラザニアなどのメインディッシュを発売いたしました。

日常の食卓はもちろん、週末の特別なテーブルや気取らないランチ、さらにはフードギフトにまで、私たちの提案は広がります。

「あったかWEEKS」を実施

店頭では、グラタンやラザニアなどのオープン料理と一緒にサラダをお買い上げいただくとセット価格になる買い合せ販促を行いました。新しい「料理」を積極的にお試しいただけるよう努めるとともに、楽しい食卓をご提案しました。

メインディッシュ



牡蠣グラタン

+

サラダ



生ハムとオニオンの
さっぱりマリネ

→

楽しい食卓



乾杯白ワイン!

TOPIC

G
Gastronomie
RF1



RF1のハイエンドブランド「RF1ガストロノミ」オープン!

平成20年9月3日、食シーン、食スタイルのプロデュースを目指した新ブランド「RF1ガストロノミ」がジェイアール京都伊勢丹にオープンしました。その場でローストするソーセージや、地元の京野菜と洋のエッセンスがコラボレートした特別メニューなど、料理メニューを中心にこだわりに満ちた商品をお届けしています。

「子ども」たちと一緒に、 食の大切さについて考えたい。

食をプロデュースしていくロック・フィールドにとって、“食育”は欠かせないテーマです。商品をお買い上げいただく大人だけでなく、ご家庭で召し上がっている子どもたちにも、食への興味を持ってもらえるよう取り組んでいます。

店頭では、サラダキットの商品群によってお子様と調理を楽しんでもらえるご提案をしたり、地域の小学生を本社工場に招待し、食とのふれあいを深めてもらいました。子どもたちが食べものを知り、食べることを楽しみ、食べものを大切にすることを経験できる商品の提供や社会活動を行っています。

ロック・フィールドの考える食育



「30品目野菜のキッズハンバーグ」を発売

新ブランド「RF1ガストロノミ」では、30品目の野菜をお肉に練りこんだハンバーグを開発、発売しました。野菜をしっかりと摂取できるキッズに人気のメニューを提供することで、子どもたちの食事を応援します。

TOPIC



キッズニア甲子園に出展します。

キッズニア東京に引き続き、平成21年3月にオープンするキッズニア甲子園に私たちのパビリオンを出展いたします。

新鮮な野菜や果物を使ったジュースづくりを通して、食の楽しさはもちろん、食材の栄養や衛生管理の大切さなどを学び、「食」への理解と関心が高まるきっかけを提供していきます。

ロック・フィールドの「安心・安全」への取り組み

～品質保証部門からのレポート～

皆様に食を提案していくうえで、「安心・安全」への意識は常に持たなければいけません。

ロック・フィールドは、商品の確かな品質保証と、皆様への分かりやすい情報提供を目指すために、当社の全部門の安全管理を行う“品質保証部門”を設けています。

品質保証部門

品質管理室

安全な商品をお届けするために。

神戸、静岡、玉川のファクトリーに併設し、生産商品をはじめ、店頭での販売商品の品質検査を行い、生産・販売現場の点検を含めた商品の安全確保に努めています。その都度必要であれば改善指導をします。また、神戸品質管理室では企画開発・新商品の品質チェックも行います。

商品情報管理室

正確に、より分かりやすく。

お客様に商品の正確な情報をより分かりやすくお伝えすることを第一として、商品情報の表示作成や、栄養計算、販促ツールの確認など商品情報の管理を行っています。また、お客様から原材料についてお問い合わせがあった際には、お客様相談室と連携して対応します。

お客様相談室

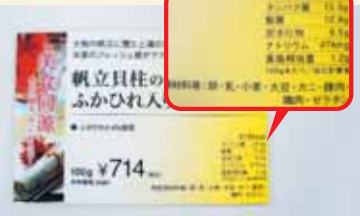
もっともっと、満足していただける商品へ。

主にお電話・ホームページ・Eメールでのご意見やお問い合わせの対応を行っています。頂いたご意見を社内へ発信し、新たな商品企画、製造工程の改善やサービスの改善へとつなげています。お客様のお声を、より「安心・安全」で満足して頂ける商品づくりに生かすための部門です。

ロック・フィールドの「安心・安全」はこうしてつくられます。

商品の「安全」を保証するため、品質保証部門はすべての部門と連携しています。

各部門が行う衛生管理や品質管理など、お客様の「安心」を得るための様々な活動を指導・管理し、品質をコントロールしています。



商品企画開発

CHECK

- ✓ 試作品が品質面で問題はないか?

CHECK

- ✓ 店舗作業マニュアルは安全性を確保しているか?

販売促進

CHECK

- ✓ 原材料の産地や、銘柄の表現は正しいか?

CHECK

- ✓ 商品の特徴表現に問題はないか?

購買

CHECK

- ✓ 安心・安全で品質の良い原材料であるか?

CHECK

- ✓ 信頼できる取引業者か?

生産

CHECK

- ✓ 衛生的に商品が作られ、店舗へと出庫されているか?

CHECK

- ✓ 従業員の衛生教育をきっちり行っているか?





物流

CHECK

- 商品の仕分けが衛生的に行われ、運搬時の温度管理に問題がないか？

販売

CHECK

- 商品表示の内容や販売の仕方に問題がないか？

CHECK

- 従業員の体調管理はOK？

お客様相談窓口

CHECK

- クレームの原因調査や改善策への取り組みはきちんと行われているか？

皆様からお寄せいただいたお声が、ニーズに応えたより良い商品づくりへの力となり、サービス向上の源となっています。

例えば…

→ご要望

ベジタリアアを利用していますが、子供にできるだけ砂糖を加えた物を飲ませたくないので、店頭で砂糖を使用しているか、いないかを分かるように表示してもらいたい。



改善点

ベジタリアアでは砂糖の使用有無をプライスカードに表記するよう改善いたしました。



~~砂糖~~

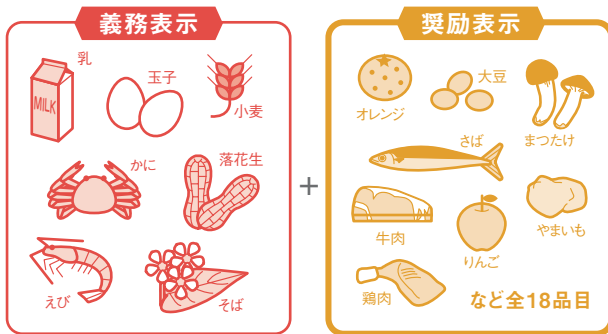
商品の「安全」を、お客様の「安心」に。

～安心のための情報提供～

科学的根拠など確かな情報をもとに品質管理を行い、お客様がお召し上がりになるまで品質を保証できるよう努めるとともに、お客様が必要とされる正確な商品情報を提供するなど、全社をあげて、商品の「安全」をお客様の「安心」へと結びつける様々な活動を行っています。そして今後も揺るぎない「安心・安全」への価値観と姿勢を保ち続けていきます。

積極的な情報開示を行っています。

食品衛生法に基づく特定原材料等の表示義務は平成20年12月現在7品目ですが、ロック・フィールドでは、商品にどのようなアレルギーが含まれているかをしっかり情報管理したうえで右の義務表示、奨励表示に「魚介類」を加えた26品目を店頭で提示しています。



きめ細やかな、お客様へのサービス。

店頭でお客様から原材料について尋ねられた場合には、スタッフが本部に問い合わせ、迅速にお応えいたします。



**R¹
F** Think, food.
食文化を考える
SOZAI ことから始めよう。

be Organic・RF1ガストロノミを含みます。

「アール・エフ・ワン」

178店舗
連結売上高17,420百万円

【部門概況】

ブランド価値向上や買い合せを促進するべく、「きのこ入りミートラザニア」「ほうれん草とベーコンのキッシュ」など『料理系メニュー』の展開を拡大しました。原材料費の高騰対策としては、商品設計の見直しを行うほか、国産原材料の産地との取り組みを強化し、「安心・安全」において今まで以上に顧客の信頼に応えられるブランドを目指しました。

元祖 **神戸コロッケ**

素材にこだわる、
元祖コロッケ専門店

「神戸コロッケ」

53店舗
連結売上高2,058百万円

【部門概況】

コロッケ専門店としての品揃えに立ち返るため、定番コロッケの素材・製法・技術の向上に加え、新しく「ビストロコロッケ」シリーズを展開しました。本格的な料理をコロッケにしたビストロコロッケは、さまざまな味を楽しめるよう小さめのサイズにし、食楽を愉しむ顧客層獲得に努めました。

VEGETERIA
Real veges, real fresh juice.

Sustainable Days.
地球にいいこと、カラダにいいこと、
続けていこう。

「ベジテリア」

34店舗
連結売上高1,039百万円

【部門概況】

他競合の野菜ジュースの増加を好機ととらえ、ベジテリアの強みであるフレッシュな「野菜系ジュース」の商品力強化に取り組みました。また、昨年冬より展開を開始した「ベジスープ」は夏場も冷製スープとして展開を継続し、徐々に固定客獲得へとつながっています。



アジアフードヒストリー

「RF1 Asia」「融合」

8店舗
連結売上高546百万円

【部門概況】

「美食同源」をテーマに、「健康」・「安心・安全」を切り口にした付加価値の高い商品への取り組みを強化しました。また、売り方においても食シーンの提案につながる売り方の追求を行い、時間帯や曜日別のお客様のニーズに合わせた商品展開を行いました。

いとはん



この国の人、この国の食



新しい価値観の
和そうざいブランド

「いとはん」「三日坊主」

14店舗
連結売上高891百万円

【部門概況】

国内産の旬の素材を使用した「京都産九条ねぎと淡路産ちりめんの和サラダ」や、素材を丸ごと生かした「加茂茄子の田楽(ゆず味噌&もろみ味噌)」など、素材と調理法にこだわった商品の導入を行うと共に、土用の丑、北京オリンピック、新米フェアなど、歳時記・イベントにあわせた商品強化にも積極的に取り組みました。

そうざいや



街と暮らしの真ん中に

「そうざいや地球健康家族」

22店舗
連結売上高1,338百万円

【部門概況】

食卓に新しい喜びと楽しさを届けるために、旬の美味しい素材を使った商品を、期間限定で展開しております。また、商品の品揃えを常に見直しながら、「季節野菜の一口かき揚げ」や、「青森県陸奥湾産の帆立貝柱フライ」など、季節を体感できる売り場づくりを目指しました。

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成20年10月31日現在)	前中間期 [※] (平成19年10月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年4月30日現在)
資産の部			
流動資産	9,073	9,394	10,319
固定資産	16,049	15,963	15,518
資産合計	25,122	25,358	25,838
負債の部			
流動負債	4,528	4,673	5,068
固定負債	493	1,067	692
負債合計	5,021	5,741	5,760
純資産の部			
株主資本	20,121	19,528	20,010
評価・換算差額等	△20	88	66
純資産合計	20,101	19,617	20,077
負債純資産合計	25,122	25,358	25,838

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (自平成20年 5月 1日 至平成20年10月31日)	前中間期 [※] (自平成19年 5月 1日 至平成19年10月31日)
売上高	23,570	23,099
売上原価	10,428	10,105
売上総利益	13,141	12,994
販売費及び一般管理費	12,357	11,848
営業利益	784	1,145
営業外収益	25	27
営業外費用	10	17
経常利益	799	1,155
特別損失	27	79
税金等調整前四半期(中間)純利益	772	1,076
法人税等	368	474
四半期(中間)純利益	403	601

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前中間期*
	(自平成20年 5月 1日 至平成20年10月31日)	(自平成19年 5月 1日 至平成19年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	782	1,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,313	△521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 677	△650
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△2
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△ 1,211	158
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	5,163
現金及び現金同等物の 四半期末(中間期末)残高	4,847	5,321

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

決算のポイント

point 1 売上高

景気後退による厳しい市場環境において、店別、時間帯別、曜日別の品揃えを強化し、お客様のニーズに即した販売を行いました。その結果、売上高は23,570百万円となりました。

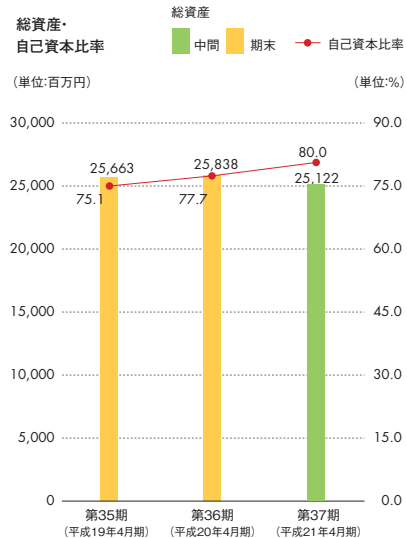
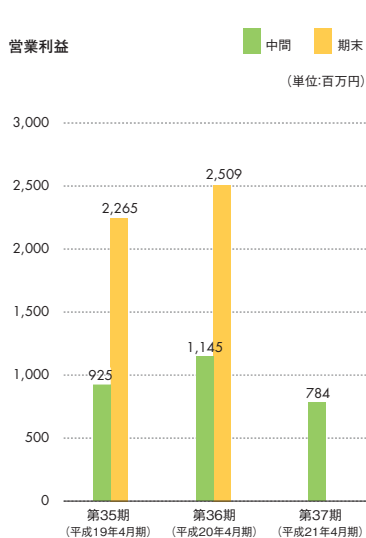
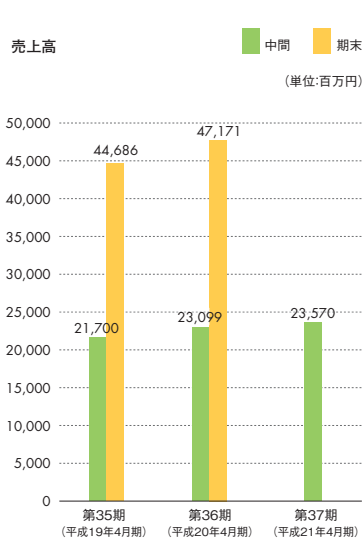
point 2 営業利益

原材料高や人材確保難による人件費の増加の影響もあり、営業利益は784百万円となりました。

※注記事項

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語などが、当第2四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、当報告書においては数値の比較がしやすいよう主要な財務項目は並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご確認ください。

財務ハイライト



会社情報

(平成20年10月31日現在)

■ 会社概要

社名	株式会社ロック・フィールド
設立	1972年6月8日
事業内容	そうざいの製造・販売
代表者	代表取締役社長 岩田弘三
資本金	55億44百万円
従業員数	1,291名
子会社	Rockfield (California) Inc. 株式会社コウベデリカテッセン

■ 役員

代表取締役社長	岩田 弘三	監査役	渡辺 哲夫
代表取締役専務	湯浅 勉	監査役	三宅 良治
常務取締役	尾崎 一郎	社外監査役	阿部 良男
取締役	垣谷 優一郎	社外監査役	林 義久
社外取締役	堀場 厚	社外監査役	奥田 実
社外取締役	寺田 千代乃		
社外取締役	松村 はるみ		

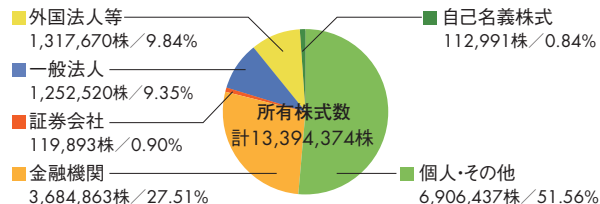
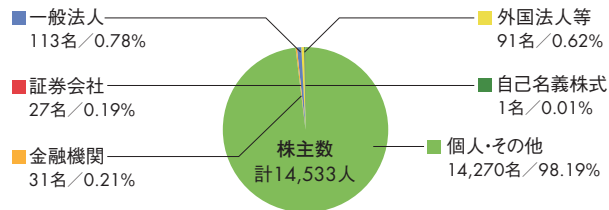
株式の状況 (平成20年10月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,394,374株
単元株式数	100株
株主数	14,533名

大株主

株主名	持株数(株)
岩田 弘三	1,531,268
明治安田生命保険相互会社	656,300
株式会社四国銀行	621,460
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	401,100
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	350,300
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	298,000
ロック・フィールド取引先持株会	286,740
ロック・フィールド社員持株会	263,797
三菱UFJリース株式会社	241,032
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	237,900

所有者別分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	7月
剰余金の配当基準日	期末 4月30日 中間 10月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
公告方法	電子公告(http://www.rockfield.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

■ 単元未満株式の買増請求制度および 買取請求制度のご案内

【買増請求制度について】

株式市場で売却できない100株未満の株式(単元未満株式)をご所有の場合、合わせて100株(1単元)にするのに必要な株式を当社から市場価格で買増しすることができる制度です。

【買取請求制度について】

ご所有の単元未満株式を当社に対して売却することができる制度です。当社は、市場価格で買取りいたします。

住所、氏名のご変更、単元未満株式の買取請求・買増請求などのお手続に関するお問い合わせ、
お手続に必要な書類のご請求等はお取引の証券会社までご連絡下さい。また、特別口座で管理されている株式に関する
お問い合わせ等は上記株主名簿管理人(特別口座管理機関を兼任しております)事務取扱場所までご連絡下さい。

株式会社 ロック・フィールド <http://www.rockfield.co.jp/>

神戸ヘッドオフィス 〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町15-2 TEL.078-435-2800(代表) FAX.078-435-2805
東京オフィス 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-16丸石第二ビル TEL.03-3526-6355(代表) FAX.03-3526-6356
神戸ファクトリー 〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町15-2 TEL.078-435-2200(代表) FAX.078-435-2210
静岡ファクトリー 〒438-0112 静岡県磐田市下野部2280 TEL.0539-62-5700(代表) FAX.0539-62-5043
玉川SPSファクトリー 〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地3-12-57 TEL.044-811-8171(代表) FAX.044-811-8199



環境に配慮し、大豆油インキと
FSC認証紙を使用しております。